

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 畠山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷株式会社



水 康徳
(平成6年7月入会)

(中央会略歴)
平成9年度 金融委員会 副委員長
平成10年度 総務委員会 副委員長
平成12年度 県出向理事
平成14年度 総務委員会 委員長
平成15年度 30周年記念事業委員会 委員長
平成17年度 副会長
平成18年度 副会長

次年度会長決定！

会員の皆様、この度は次年度第34期会長に指名承認をいただき、ありがとうございます。

諸先輩方が築いて来られた当会の歴史と伝統を十分に踏まえた上で、私なりに精一杯その職務を務める所存です。次年度が始まる7月までの間、粛々と来期の準備を行なってまいります。皆様にはいろいろとご相談やお願いをするとおもいます。快く了承していただくと幸いです。

今期の委員会活動も大詰めに差し掛かっています。会員の皆様には今期の活動に注力いただき、今年度の委員会活動を充実したものにしたいと思っております。

よろしくお祈りいたします。

2月例会報告

～どげかしよいよ～ ぼくらに出来ないことはない！

2月14日(木) 米子コンベンションセンター

雪がチラつく2月14日(バレンタインデー)に、西部地区の高校生13名、米子市長 野坂康夫氏・米子市企画課主査 生田勝氏をお招きして2月例会が開催された。

冒頭に参加して頂いた高校生の自己紹介が行われた。高校生たちは一同、おじさん達に囲まれた雰囲気や硬い表情であったが、相対して中央会会員側はいつもと違った例会風景にわくわくした雰囲気や望んでいた。中田会長の挨拶では、『将来を担う高校生たちと活発に意見交換をしてください』という今回の例会趣旨を含めたことを述べられた。

続いて、担当委員会である政治行政委員会 濱田会員より『高校生』をキーワードに用いたことに関して『われわれとは違う視点・感性を感じ取って市街地活性化のヒントにしてほしい』との例会説明が行われ2月例会はスタートした。

初めに、米子工業高等学校より4名のプレゼンターによるプレゼンテーションでは、学校での授業の一環として地域との関わりを持つことにキーワードをおかれて工業高校の特性を生かした『看板づくり』や『啓成校区ストップマーク塗り』が発表された。

続いて米子南高等学校『地域おこしプロジェクトII』～よなごをもっとPRしよいや！と題された米子市の水をテーマにしたプレゼンが行われたが、今回参加していただいた米子市幹部も真っ青な「なるほど！」と感ずるプレゼンテーションであった。

その後も、コーディネーターを担当する川村会員の指示により背広とネクタイ

を外して本音で語る意見交換会がスタートした。スタート当初は会員・高校生ともに固い意見が多かったが開始後10分程度で、本音が出始め白熱した意見交換会であった。個人的な感想では、高校生の意見は大人には無い鋭さや純粋さ、また一方将来への不安もあり、驚くほどストレートで心に響いた。全体的に、非常に良い意見交換会であり、コーディネーター川村会員のフリにもズバッと返す高校生たちは印象的であった。最後に登場した

松江委員長は『高校生が地域のことで叫ぶ場を作った』と話され意見交換会は終了した。

最後になるが、おりしもバレンタインデーの夜に参加していただいた『米子工業高等学校4名・米子南高等学校5名・米子西高等学校2名・米子東高等学校2名』の高校生たちに改めて御礼を申し上げ、われわれ中央会員も含めて今後も地域活性につながる意見をどんどん出して行かなければならないと感じた 記事:勝田



委員会活動 広報委員会

今期の広報委員会は、ホームページの管理運営・有効活用、印刷物制作発行(雄飛・ハンサム)を基本方針とし、中央会内外に向けての広報活動の整備・活用推進を念頭に活動しています。

広報委員会の主な活動として挙げられるものに会報「雄飛」ならびに「ハンサム」の制作・発行があります。両紙とも現役会員とOB会員との情報共有を図る役割があり、また会外にも発信されていることも意識し、委員会メンバーがスキルアップできるような、講師先生をお迎えし文章作成講座やカメラ使用等の講習会を開催しました。

また記事内容も定例(報告・連絡記事)のほか、情報提供(発信記事)を盛り込み、興味深く読んでいただけるよう心掛け、会報制作をしています。

もう一つの活動にホームページの管理運営・有効活用がありますが、35周年事業を2年後に控え、時代に則した内容や情報提供、外部への情報発信の一つとして、また会員相互の交流の場の便利なツールとしても活用してもらいたいと考え、ホームページのリニューアルを検討し現在進行中です。

また、更新作業の簡略化、個人情報保護な

どを考慮した情報のデータベース化にも取り組んでいます。リニューアルしたホームページは3月下旬の運用開始を目指しておりますので、ご期待下さい。

今後は6月担当例会の企画・運営、また卒会寄稿文・委員会報告書・会員手帳制作・発行など、これからもっと忙しくなる委員会ですが、メンバーと共に最後まで悔いのない委員会活動を行なっていきたいとおもいます。

最後に、原稿依頼や取材依頼等ご協力いただくこともありますが、何卒快くご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

OB訪問



27期卒会 追谷和之OB

新入会員当時はいかがでしたか？

「お得意先の社長さんばかりの会」といった印象で、そうそうたるメンバーが集まる会でしたね。最初の配属は松本啓委員長(第23期卒会)の産業開発委員会でしたが、2回目の委員会では田部長右衛門氏にお会いするため松江を訪問する機会があり、若い自分にとっては「すごい会に入会したものだ」と驚かされるとともに、大変印象深く記憶に残った出来事のひとつでした。

当時のトライアスロン皆生大会ではランが0時最終だったので、撤収が深夜1時を過ぎるのが当たり前。ポイントに配置したのを忘れ去られて、5時間も立ちんぼ状態でした(苦笑)。

一番思い出に残っていることは？

広報委員長をさせていただいたことですね。仕事が忙しく何度かお断りしましたが、25周年の堀田収会長(第27期卒会)のときに「最後の恩返し」とおもお受けしました。初の女性会員を受け入れるに当たり三役から「門限22時」の勅命があり、取扱いに苦慮したのを覚えています。もっとも彼女のバイタリティーの前では杞憂でしたが(笑)。

現役会員、新入会員に一言

異業種の集まる会というのは、企業や人の「情報」が得られる場。会社対会社では知り得ないことも、会員同士の枠組みの中では知り得たりもする。

私自身13年の在籍期間には中だるみもありましたが、同じ会に所属する者同士の「縁」を大切にさせていただきたいとおもいます。第27期卒は今でも同期卒の会「2年7組」として、2～3ヶ月に一度のペースで集まっています。

追谷OBは記者が新入会員当時にお世話になった委員長。紳士的で物腰が柔らかく、穏やかな表情は当時のままでした。この度はお忙しい中取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。帰り際にお約束しましたとおり、OB交流会・忘年会でお目にかかるのを楽しみにしています。

記事：尼子

Creative & Action

「好きな言葉」

小椋崇永会員

私は今まであんまりというより、全くいや全然といったほうが正しいと思うほど活字に興味がありませんでした。しかし、昨年度の委員会活動で論語を初めて勉強させて頂きました。言葉には何か力があることを素人なりに感じ今まで知らなかった自分が恥ずかしく思えました。だからといって急に勉強しても奥が深くなかなか分からなく1つだけならと思いきや見させてもらった中から私が1番に共感した言葉をご紹介します。

原文：子温而 威而不猛恭而安

子は温にして厲し。威あって猛ならず。恭しくして安し。

訳 温かさの中に厳しさがあがり、威厳がありながら圧迫感がなく、謙虚でありながら、窮屈な感じを与えない。

この言葉を聞いたとき私は何か感じるものがあり自分はどうなの？人として、それとも人間として！ここまでいうと少し大袈裟かもしれませんが何か自分の人としての目標を見つけたような気がしました。孔子も初めからこのような人格ではなかったと聞きますし、自分も、人として、経済人としてのこのような懐の深さを感じさせることが出来たらと思いました。おそらく、自分に厳しく他人に温かければ、こうなるのではないかな。これから、私も努力していきたいです。そして皆様の暖かく、大人の対応をお願いし私の好きな言葉を紹介させていただきました。

現在はまだ、これをそっくり逆にしたら自分になるのではないかと反省し。まだまだ修行が足りません。がんばりま〜す！！

岩倉紙芝居館主が独断で記載したもの(古典 上田啓之)

『温は“おだやか”、厲は“はげ”しい、“おごそか”、“といし：砥石”、威は“おごそか”、猛は“たけ”し、恭は“うやうや”し、安は“やすらか”し、と訓じられる。学而篇10)に夫子温良恭儉讓、温(おだやか)良(すなお)恭(うやうやしい)儉(つつまじやか)讓(ひかえめ)とあった。しかし、礼、樂を学び、述べるにあたっては、厲があり、威があり、安があった。

読書会：先生の行動の記録。古注のメインは何晏の論語集解であり、これとは別に皇侃の論語義疏がある。皇侃では「君子温而・・・」と先生の言葉となり、君子はこういうものということになる。どちらとは決め難いが、弟子が孔子を評しているというより、孔子の言葉というほうがしっくりくる』

豆知識

堀江則夫会員

まだまだ寒さの続く今日この頃、皆様は如何お過ごしでしょうか？この時期体調もくずれやすく、風邪などお召しの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？そこで今回はちょっとした風邪の特効薬、特に発熱を伴い食欲も殆ど無いなど、こじれた時にお奨めの一品、『特製麻婆豆腐』をご紹介します。「なにそれ？常識じゃん・・・」そう思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、そこは「特製」と付く以上、普通の麻婆豆腐とはワケが違います！ではレシピをご紹介します。まず、永〇園の素かなんかで普通に麻婆豆腐を作ります。そして出来上がり直前に二つものものを加え、よくかき混ぜます。一つ目「豆板醤」大さじ一杯(無ければ「一味」を普段うどんなどに入れる10倍程度)。二つ目「すりおろしにんにく」こちらも大さじ一杯。たったこれだけで完成です。食されます時はアツアツをイッキに、そして食後には中ジョッキ一杯程度の水を飲みます。あとは大人しく寝るだけです。枕元にバジャマをもう一着用意しておいて、寝汗をかくので必ず着替えましょう。実はこれ、発汗による解熱作用と高価栄養補給を目的とした一品で、学生時代にバイト先の中華料理店で教わったものなんです。本当、ウソのようによく効くんですよ！！特に上記食材にアレルギーをお持ちでない方は是非お試しください。もちろん前段として日頃よりの風邪予防策、うがい・手洗いの励行もお忘れなく。

中央会アーカイブス

「大切な感覚」

いまだ記憶に新しいとおもうが、12月忘年会オークション。久々にオークションニアとして登場したOBのTさんの素晴らしい競り声を聞きながら、懐かしいおもいがしたのは私一人だけではないだろう。私には二つの意味での懐かしさだった。久しぶりにTさん自身にお会いできたことと、もう一つはあの「熱っぽい親愛感」だ。後輩はもちろんのこと、先輩に対してもどンドンコキオロス。あれほどの押し売り(失敬)が可能なのは、実に深い見事な人間関係のベースがあるからである。

これに似たパターンとしては、前応援団長のN会員。トライアスロン壮行会のステージ上で、出場する後輩会員はもとより、諸先輩を見事に叱り飛ばす…いや、叱咤9割激励1割(思わずステージの上で懺悔をした選手もいたが)、これも左記に同様。これらはきちんと築かれた信頼感や安心感に立った双方関係があるからこそ。(申し添えるが、これらは彼らのサービス精神と誰からも愛される人間性があるから可能なのである。普段の場面では後輩にも先輩にも大変丁寧なキチンとした態度のお二人である。)

ある元会長は中央会を恋人に譬えられた。その気持ちは在籍9年目になってとてもよくわかる。中央会での人間関係は非常に密度が濃い。確かにLOVEに近い。青年中央会という世界観は、拘り定規なあるいはビジネスライクなものだけではない。会員内で商売しようという狭い見では続かない。というより、この「熱っぽい親愛感」こそが一番の共通の信頼感、安心感なのだろう。新しいビジネスチャンスや自分自身の成長感、元を辿るとそこに源泉があると思う。どんな仕掛けもいらぬ。ゼン勘定でもない。会を元気にするのは会員自身のエネルギーでしかない。現役の若い会員諸君！先輩・OB会員との接し方には戸惑いもあるかもしれないが、まずは「自分流」でぶつかっていけ。切磋琢磨だ。「自分の感性=Sence」をぶつけるしかない。それを積み重ねてやっと「タメ」で付きあえる。「仲間」になれる。

ステージに漂うとことん中央会的な空気とノリの良さ(こういう表現は好きではないが)に、「あー中央会はいいなあ」とおもう。この「熱っぽい親愛感」是非受け継いで欲しい！ということで、アーカイブス！

記事：島山



おもひでの一言

A word of a memory

平田和久会員

麻雀をされる方ならご存知の会員も多いでしょう。桜井章一氏の言葉で「勝つだけの勝負は二流、与えるものがあってこそ一流」というものがあります。

氏は、20年間に裏の賭け麻雀の世界で一度も負けたことがなく(現在は裏の世界から引退)、勝ち続けたといわれる人物ですが、麻雀を始めた頃は勝つことが楽しく、もっと強い相手がいないかという想いで一杯だったそうです。しかし麻雀をすればするほど勝ち続け、その影で泣いている人達のことが見え始めた時、「勝負の本質とは何か」と考えるようになったそうです。

その結果、「勝負なのだから、勝ち負けは避けて通れない。いかに相手に与えるもの(広い意味合いの利益になること)を造れるかが大切」と言っています。

私達、経済社会に生きる現代人は、物事の判断基準の多くを「自分にとって利益になるか、不利益になるか」で選択することが多いとおもいます。政治家の先生を応援するとき、企業が行なう各種の取引、個人の結婚相手の条件など様々な場面で自社や自分の利益を守ろうと考えていないでしょうか。経済社会である以上そのような判断は避けて通れないものだとおもいますが、もう少し視野を広め、「相手に与えられるものはないか」と考えてみてはいかがでしょうか。

私は、数年前よりこの考え方を自分の仕事に取り入れていますが、お客様より感謝されるケースが格段と増えています。そして何よりも自分自身の自信の源となっています。



二月のある雪の積もった休日のワンショットです。

最近帰りが遅く、あまり子供とふれあうことが少なめな私。

ここはお父さんの人気回復と、日頃の懺悔の意味も含めて「等身大の雪だるまを作ろう！」と張り切りました。

久しぶりの雪だるま製作。

張り切ったのはいいですが、積雪があまり多くなく、ゴロゴロ転がっていくと、すぐに地面が見え始め、きたな～い雪だるまになってしまいました。

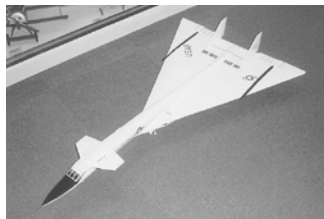
心配そうな心配そうな我が子を傍らに、慌てて辺りの雪で化粧をして少々強引ですが、何とか完成という形をとりました。等身大には少し足りない「1/2サイズ雪だるま」とハイ・チーズ。

人気も1/2回復したとおもいますが…。

小川敦弘会員

今日の一枚

こだわりの逸品



皆さんも人に言えない趣味、秘めたる嗜好(鼻をかんだ後、必ずティッシュを広げて確認しないと落ち着かないとか)のひとつやふたつはお持ちかと存じますが不肖私、卒会を目前にカミングアウト致します！実は根っからの「軍事(兵器)ヲタ」なんです…想えば小学校低学年の頃タツノコプロの戦争アニメ「決断」に心奪われたのを機にのめり込んで行ったのを憶えています。特に「空モノ」(軍用機)が好きでここ十数年来収集し続けているのがミュージアムモデルと呼ばれる元来博物館等に資料として展示する為一点ずつ手作りで作成

される大型の模型です。価格は大体80万円から上は500万円超なんて悪いジョーダンみたいなものも存在します。ちなみに写真のモデルは米空軍試作超音速戦略爆撃機(長い…)「XB-70・ヴァルキリー」で結構高かったんですが無理してGETしちゃいました。美術的価値が有る訳でも無く、勿論空を飛ぶ苦も無いただの飾り物ですが眺めているだけで「萌え～」になってしまうのは「ヲタ」たる所以でしょうか？厄介な病気です…

そんな私の尊敬する人物は暴力的な9.7対0.3分けアンドロメダヘアーの軍事評論家・江畑謙介氏であり、アイドルは石破茂防衛大臣。理想の女性のタイプはライス国務長官(ウソ)でありますっ！！(って最後だけナゼ軍隊調?)

記事：ヲタ園

地域ビジョン委員会 視察研修 岡山日生・大阪



地域ビジョン委員会のテーマは「食」。新名物の商品化を目指し活動している。新たな「山陰の名物」になりうる素材を探し出し創作料理の考案や食べ歩きのおこない、様々な視点から議論を繰り返してきた。(詳細はハンサムNo.235 委員会活動をご覧ください) 今回、食べ歩きの最終段階として

新旧の名物食を訪ね岡山日生・大阪を視察した。

岡山県日生は瀬戸内海に面した漁港町だが行列が出来る店が軒か見られる。行列の正体はカキ入りお好み焼き(通称:カキオコ)を求める客である。カキオコはここ近年メディアにも取り上げられ全国的にも有名になった日生の新名物で、年間35万人以上の観光客が訪れている。その火付け役「日生カキお好み焼き研究会」会長の江端恭臣氏を訪ねご講演いただいた。研究会発足のきっかけは通勤電車であう仲間達と日生特産のカキを使ったお好み焼きと町並み人情を楽しめる町として全国に発信しようという冗談話から始まったそうである。2002年1月に研究会設立し2月には食べ歩き調査をしてから一ヶ月もかけず手書きのお好み焼きマップを製作。当時は公共機関やお店に相手にされずマップを置いてもらえない状況が続いたが、屋台等の出店やHP、イメージキャラクター、のぼり旗、パッチ作成など地道なPR活動を展開した結果、徐々に訪問客が増え町長

との「カキオコまちづくり懇親会」をきっかけに町民、各公共機関、お店に認知され協力を得られるようになったそうだ。さらにPRの一環でカキオコ合唱団を結成しカキオコソングを様々なイベントで発表し、JR西日本との共同企画「カキオコキャンペーン」・駅プラン「カキオコ」なども実施され、マスコミからの取材が来るようになり全国に「カキオコ」が発信される結果となった。『一番の秘訣は楽しみながらやり、地元の人達と協力しあうこと』だが、しかし『すべては冗談から』と強調して話される。まだ6年。なにげない会話、ビールを片手に出てきた冗談話をヒントに様々な仕掛け作りを日々模索しまだまだ進行中である。

言わずと知れた食の都大阪。名物は多くたこ焼き・お好み焼きetc... 数えきれない。

その中で昔から地に根付き発信元になった鶴橋の焼肉、恵比寿の串カツ店を訪れた。どちらも同業種店が軒を並べお店の選択を迷うほどである。特に串カツ店では開店前から長蛇の列ができていて、20分足らずで順番が回ってくるほどお客の回転が速く一人あたり2,500円程度は食していく。思わず40数席×2,500円×営業時間などと計算してしまう。今回、時間の関係もありいろいろな店の味・素材・価格設定等の比較が出来なかったのは残念だったが、味はもちろんPR方法にも地域性を上手く取り入れ展開していると感じることができのではないだろうか。今後の委員会での商品開発やPR方法に多に役立てていただき、新名物を試食できることを楽しみにしている。

記事:石川

2月度委員会報告

会員力委員会

平成20年2月7日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/11名
議題/・4月担当例会について
・会員拡大について
・新入会員オリエンテーションについて

地域ビジョン委員会

平成20年2月9日(土)~10日(日)於:岡山・大阪周辺 出席者/9名
議題/・商品企画、情報発信の現地視察
・講演:日生カキお好み焼き研究会 江端恭臣会長

環境問題委員会

平成20年2月6日(水)於:米子食品会館 出席者/11名
議題/・後期企画案・現地視察の検討について
・その他

ビジネス委員会

平成20年2月5日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/11名
議題/・3月オープン委員会について
・講演:足立美術館 森清治次長

魅力アクション委員会

平成20年2月7日(木)於:淀江文化センター(さなめホール) 出席者/7名
議題/・3月担当例会について
会場視察、内容検討

政治行政委員会

平成20年2月5日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/12名
議題/・2月担当例会について

広報委員会

平成20年2月6日(水)於:備長炭炉端まつだ家 出席者/13名
議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担
・HPについて
・6月担当例会について

総務委員会

平成20年2月5日(火)於:米子食品会館 出席者/10名
議題/・内部書類の整理ならびに通年行事のマニュアル化について

3月役員会報告

3月定例役員会が平成20年3月3日(月)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会の反省・報告の件
- ・3月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

3月例会案内

と き:平成20年3月17日(月) 19:00~開会
と ころ:米子市淀江文化センター さなめホール
内 容:講演「サントリー天然水(奥大山)にこめる想い」
担 当:魅力アクション委員会

編集後記

先日久しぶりに雪が積もり近所の子供たちが近くの駐車場で楽しそうに大きな雪だるまを作っていました。私も小学生の頃は近くの公園でスキーをしたり、かまくらを作って遊んでいた頃を思い出しました。と同時に駐車場に車を止めた人は困るだろうなとつい大人の目線で見えてしまいました。外での遊び場が少なくなった昨今、小さなアーティストの作品だともって笑って許してあげたいものです。

広報委員会

お知らせ

【企業内容変更】

山本克美会員

新)株式会社 ウェイトサポート 代表取締役 山本克美

旧)サウンドクリエイト ウェイトサポート

新入会員
《コピーをして名簿にお貼りください》



H20.2 (H19年度) 入会
(推薦者) 川村(健)
松江(智)

中村 友紀 A型
株式会社サンイントウエイ 社長室室長
カラオケ機器販売・レンタル・リース 映像・音響・照明機器販売
〒689-3403 米子市淀江町西原1337-124
TEL 56-5518 FAX 56-2162
(KT) 090-7778-8111
(EM) t-nakamura@tulip.ocn.ne.jp
S57.5.1生

(コメント) 私は、カラオケ機器を主にホテル・旅館・スナック・福祉施設などにレンタル・販売しており、米子を中心に鳥取から松江まで営業活動を行っています。

同業社は地元企業が少ない業界なのですが、私は営業活動を通してお客様と業者とは、お客様と営業マンとはどんな関係を作らなければならないか、その中で「地元企業とは何をしなければならぬか、してはならない事」と悩んでいたところ、川村会員と出会う意見交換を行う中で共感をする事があり、中央会を紹介され、入会させていただくことになりました。

プライベートでは米子市民リーグでサッカーをしています。スポーツは全般的に好きです。高校時代はバンド活動をしていました。最近では映画鑑賞が好きです。

趣味も含めいろいろ教えていただきたいとおもいます。若輩者ではありますが今後ともよろしくお願ひします。